

札幌国際芸術祭(SIAF)の継続的な開催

国内外からの来場者に向けて
札幌の魅力を国内外に発信

札幌の独自性のあるプログラム



2014年 札幌芸術の森
中谷美二子《FOGSCAPE #47412》
(撮影 木奥恵三)



2017年 モエレ沼公園
松井紫朗《climbing time/falling time》
(撮影 小牧寿里)

市民に向けて
市民の創造性の醸成

質の高い現代アートを提供



2014年 北海道立近代美術館
アンゼラム・キーファー《メランコリア》
(撮影 木奥恵三)



2017年 札幌市立大学
毛利 悠子《そよぎまたはエコー》
(撮影 小牧寿里)

2014
2017

国内外の文化関係者の注目

寒冷な気候や雪、さらに北方圏の文化を
題材とした作品やプロジェクトを紹介

- 札幌の特性を生かした展示・プログラム
- 札幌・北海道の歴史、文化、風土を感じることができるストーリーのある作品・プロジェクト

→ 国内外の創造的な人や企業が札幌に関心を持つ

2020

現代アートへの関心

現代アートに親しみやすい作品・
題材・プログラムの提供

- 象徴的でインパクトのある作品展示
- 体験型プログラム
- 現代アートを学ぶプログラム
- 市民に身近な題材

→ ・今までになかった視点や発想が刺激される
・札幌の魅力が再認識される

多様な人・企業が
交流することで、
市民の創造性が高
まる

創造的な文化都市としての
イメージが浸透

国内外の創造的な人や企業が集積

多様性・寛容性が
あるまちになるこ
とで、創造的な人
や企業が集まる

文化意識、創造性が高まる

多様性・寛容性があるまちになる

時代や環境の変化を捉えた、創造性を生かしたまちづくり